

地域医療

あがの市かわら版

第19号

あがの市民病院の新院長に  
藤森院長が就任しました



藤森勝也院長

前・尾崎進院長が今年3月で退任され、4月から藤森勝也先生があがの市民病院院長に就任されました。

藤森先生は、昭和60年に自治医科大学を卒業され、新潟大学医学部附属病院、新潟県立中央病院、県立がんセンター新潟病院、県立新発田病院等、32年間、大学病院、県立病院に勤務され、県立柿崎病院院長を経て、あがの市民病院に赴任されました。専門は、総合内科、プライマリ・ケア、呼吸器内科、アレルギー、漢方です。

「地域住民の命を守り、ふれあいを大切にし、皆様から親しまれ、信頼され、安心される病院運営」を目指します。皆様のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます、と就任の挨拶がありました。



瓢湖のハスの花

医師と行政の意見交換

「保健医療福祉関係等業務打合せ会」

7月12日（水）、あがの市民病院、脳神経センター阿賀野病院、市内の開業医の医師の方々10人と、行政関係者40人の出席で開催しました。

意見交換の議題として、市健康推進課から「阿賀野市健康課題への取り組み」について、市民の健康寿命の延伸、医療費の伸びの抑制に向けて「脳血管疾患の発症・重症化予防」「糖尿病による合併症の抑制」が重要。特に近年医療費の伸びが大きい糖尿病は、健診での疑いの段階から確実な血糖評価・継続管理につなげ悪化防止を図りたい、と説明がありました。続いてあがの市民病院 藤森院長から「あが



の市民病院が目指すもの」として、医師不足の厳しい状況ではあるが、訪問診療・訪問看護の充実を図り、在宅医療支援への体制整備に務め、地域医療・連携センターを中心として関係機関との連携強化を図り、地域を守る、地域に役立つ病院でありたいと述べられました。

発行：阿賀野市 民生部 地域医療推進課  
平成29年8月22日  
TEL 0250-61-2503（直通）  
FAX 0250-62-0281  
E-mail: chiikiiryoy@city.agano.niigata.jp

好評につき、今年も開催！

新潟大学医学部「健康講座塾」

6月から8月にかけて、新潟大学医学部健康講座塾が3講座開催されました。講師とテーマは次のとおりです。

6月30日 整形外科講座  
「骨粗しょう症と健康」

今井教雄特任准教授  
7月19日 整形外科講座  
「腰痛の原因と予防」

「腰痛を知られば怖くない」  
渡邊 慶講師

8月1日 消化器内科講座  
「肥満、加齢に伴う消化器疾患の診断と治療」

寺井崇二教授

どの回も70人を超える参加者で、今年初めて参加された方も多くいらっしゃいました。講演の後は、あがの市民病院の職員から体操や生活改善の実践指導があり、具体的に参考になったと好評でした。

参加者からは、「予防のための食事・運動がつくづく大事とよくわかった」「今体操に行っているが、なぜ大事か理解できたので継続したい」「今日の講師のような先生にかかりたい」等の声が聞かれました。



寺井教授



渡邊講師



今井准教授